

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	金属鉱業研修技術センター（本館除く）	所在地	秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館9-3
指定管理者	小坂まちづくり株式会社	県所管課	産業労働部クリーンエネルギー産業振興課

1 施設の概要															
設置目的	金属鉱業その他これに関連する産業に関する知識及び技術の普及指導及び研修を行い、本県の金属鉱業等の振興を図る。														
県の施策上の施設の位置付け	環境・リサイクル産業の振興を図る。														
設置年	1991年	経過年数	35年	目標使用年数	60年	残年数	25年	施設面積	宿泊棟：延床面積 1,955.17㎡、ゲストハウス：延床面積 352.927㎡、						
施設の設置状況	宿泊棟、ゲストハウス、レストラン、渡り廊下														
県内類似施設							東北各県類似施設								
施設の基本的な方針（個別施設計画）	方向性	方向性に向けた対応													
	存続	施設の機能を維持するため、必要な修繕を実施し使用する。													
料金制	利用料金併用制	主な料金設定	別紙記載のとおり												
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日（5年間）					営業期間・時間	宿泊棟：年末年始以外営業、レストラン6時30分～9時、11時30分～14時、17時～20時、※定休日月火								
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・使用の許可、使用許可の取り消し、並びに使用の制限及び停止に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・金属鉱業その他これに関連する産業に関する情報の提供に関する業務 					自主事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の宿泊施設・飲食施設に合わせた料金水準の設定 ・レストランの宴会等利用に係る、地域企業を対象としたセールス活動の展開 ・レストラン青銅館による、2食付き宿泊プランの提供 ・地元食材を使った料理の提供と、黒鉱をテーマにした地域性・話題性のある商品の開発 								
サウンディング実施対象	○	年間利用者数（人）	R3	R4	R5	R6	R7	年間利用収入（千円）	R3	R4	R5	R6	R7		
			16,244	24,075	25,449	25,711	23,226		48,308	76,240	91,948	95,653	91,471		
収支決算（千円）	項目	R3	R4	R5	R6	R7	増減要因の分析								
		収入	48,308	76,240	91,948	95,653	91,471	年間利用者数	宿泊人員 10,831名 前年比 ▲104名減 設置目的 金属鉱業関連研修宿泊の減少（1,174名 前年比 ▲142名減 構成比10.8%） 一般宿泊 ビジネス・観光客 9,488 名前年比+38名 研修以外のビジネスや観光等での利用者は堅調に推移した。 レストラン人員 12,395名 前年比 ▲2,381名減 調理スタッフ等採用難での営業日数短縮等による利用人員が減少した。 朝食 6,055名 前年比 ▲275名減 喫食率 55.9% 昼夕食 7,721名 前年比 ▲2,106名減						
	利用料収入	48,308	76,240	91,948	95,653	91,471	収支決算		収入では、単価向上施策において、シングルルームへのエキストラベット設置を活かしたツインルーム販売を推進し、1室あたりの宿泊人数を向上させたほか、秋田県発祥の「ナガハマコーヒー」の提供といった付加価値向上施策を実施した。これらが奏功し、客室平均単価（ADR）は増加（前年比+131円）したが前述のとおり宿泊人員の減少、レストランでの営業日数縮小等余儀なくされたことで利用料収入は前年比▲4.4%の%減収。支出面では、調理等レストランスタッフの減少により人件費が減少し支出合計では前年比▲5.0%（光熱水費4,155千円除く）の減少となった。 ※本館に関わる光熱水費の経理処理変更について 収入・費用両建て計上から立替金計上へ変更。（本館分 4,155千円）						
	指定管理料	6,966	6,966	6,966	6,966	6,966									
	その他収入	6,510	6,792	5,651	3,856	157									
	合計	61,784	89,998	104,565	106,475	98,594									
	支出	33,271	48,619	56,092	60,480	54,398									
	光熱水費	11,529	14,787	15,121	14,410	9,750									
	修繕費	952	1,120	1,918	1,182	1,939									
	委託料	775	863	856	1,555	1,125									
その他支出	15,447	25,630	31,579	29,855	30,723										
合計	61,974	91,019	105,566	107,482	97,934										
収支差	▲190	▲1,021	▲1,001	▲1,007	660										

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	金属鉱業研修技術センター（本館除く）	所在地	秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館9-3
指定管理者	小坂まちづくり株式会社	県所管課	産業労働部クリーンエネルギー産業振興課

2 <観点I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

運営方針・施設の利用目標	(R6年度以降に指定管理を導入・期間更新する施設から適用)				
目標・実績	目標の内容	利用収入 101,766千円 (92,515千円消費税除く)			
	年度	R 5	R 6	R 7	増減要因の分析
	目標	84,590	94,700	92,515	宿泊での鉱業関連の研修宿泊者や、レストランの営業日数を縮小したこと等により利用客数が減少したことなどが影響し、目標値比▲1.1%減少となった。
	実績	91,948	96,313	91,471	
	達成率	108.7%	101.7%	98.9%	
具体的な取組とその効果	鉱業関連の研修生の受入を基本としながら、国スポやインカレ等スポーツ団体への客室提供や、ビジネス客、インバウンドの獲得に加え、OTAでの販売を実施した。				
次年度の目標	目標の内容	利用収入 107,892千円 (消費税除く 98,084千円)			
	設定の根拠	条例改正により令和8年4月から新たな宿泊料金が適用されることを受け、適正な料金設定を行い利用収入を確保する。			
<観点I> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）		
	指定管理者	B	レストランの収入は減少したものの、ホテルの収入については、設置目的である研修利用者の減少を、ビジネス客や観光目的の利用者の獲得により補った結果前年比増となっており、B評価とする。		
	県所管課	B	鉱業関連の研修生の利用は減少したものの、ビジネスや観光目的の一般利用者の増加により、目標額に近い利用収入実績があったことからB評価とする。		

3 <観点II> 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

利用者満足度の実績	年度	R 5	R 6	R 7	増減要因の分析
	実績 (%)	93.3	97.8	95.0	長期間滞在のため近隣での食事場所等環境での意見や研修に必須のWi-Fi環境への指摘等ハード面への改善希望が多い。
	具体的な取組とその効果	フロント、レストラン等の作業マニュアルの熟成、マナー研修の実施など、従業員教育による質の向上を図り、お客様から好評をいただいている。			
<観点II> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）		
	指定管理者	A	接客、サービス面では概ね4.0点評価（じゃらん・楽天）でありB評価とする。		
	県所管課	A	接客等に関する従業員教育の実施により、宿泊予約サイトの利用者の評価が高くなっていることから、利用者の満足度は高水準であると評価する。なお、ハード面の改善については、県も一緒になって取り組んでいく。		

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	金属鋳業研修技術センター（本館除く）	所在地	秋田県鹿角郡小坂町小坂鋳山字古館9-3
指定管理者	小坂まちづくり株式会社	県所管課	産業労働部クリーンエネルギー産業振興課

4 <観点Ⅲ> 県民サービス及び業務効率性の向上と公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

モニタリング項目	モニタリング項目		主な視点	指定管理者	県所管課
	①	②			
管理運営体制	① 職員の配置状況		事業計画書等に照らして適切な職員配置となっているか 等	B	B
	② 職員の勤務実績		事業計画書等に照らして適切な勤務実績となっているか 等	A	A
	③ 職員の処遇等		職員の処遇が労働法規に反していないか 等	A	A
	④ 施設等の適切な管理		事業計画書等に照らして日常的な保守管理や定期点検、清掃、警備、修繕等がなされているか 等	A	A
	⑤ 備品の適切な管理		備品の紛失・損傷はないか 等	A	A
	⑥ 個人情報の保護		個人情報取扱特記事項が遵守されているか 等	A	A
	⑦ 安全・安心の確保		事故防止マニュアルや緊急時連絡体制を整備しているか 等	A	A
	⑧ 経費の低減・収入の増加		経費の低減や収入の増加の取組が進められ、前年度と比較し、施設の収支状況が改善されたか 等	B	B
	⑨ 健全な経営		指定管理者選定時の財務指標と比較し、特段の経営の悪化がみられないか 等	A	A
サービス向上	① 開館日・開館時間等		事業計画書等に照らして適切な開館状況となっているか 等	A	B
	② 業務の実施		事業計画書等に照らして適切な業務が実施されているか 等	A	A
	③ 施設の使用許可		事業計画書等に照らして適切に使用許可がされているか、優先的又は不利益な取り扱いはないか 等	A	A
	④ 職員の接客		丁寧な対応や挨拶がなされているか、名札着用や適正な服装をしているか 等	A	A
	⑤ 広報・利用情報の発信		ウェブサイトやSNS、パンフレットなど、多様な媒体により積極的な広報を実施しているか 等	A	A
	⑥ 利用者の相談・意見・苦情		ウェブサイトや電話等による相談窓口を整備し、利用者からの相談・意見・苦情への対応策を講じているか 等	A	A
	⑦ 課題への対応		利用状況のほか、満足度調査等から課題を抽出し、対応策を講じているか 等	A	A

<観点Ⅲ> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）
	指定管理者	B	B評価となっている職員（従業員）の配置状況については、ハローワーク、WEB等活用し求人活動を実施しているものの専門職である、レストラン調理、料飲サービススタッフ人材が確保できていない状況にあるためB評価とする。 他の項目については適正に管理している。
県所管課	B	従業員の配置状況で、特にレストランに従事する専門人材が潜在的に少ないことから人員確保に苦慮しているが、極力顧客サービスに影響しないよう、現在の配置で工夫しながら対応している。引き続き人員確保には注力していただきたい。 また、光熱水費等経費節減に努めるなど、収支状況が改善していることから、総合でB評価とする。	

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	金属鉱業研修技術センター（本館除く）	所在地	秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館9-3
指定管理者	小坂まちづくり株式会社	県所管課	産業労働部クリーンエネルギー産業振興課

5 県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方

県の施策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉱業振興に係る技術開発や研修・交流事業の実施、環境リサイクル産業の普及啓発を行うこととする県の施策に沿って、研修の受入機能を担っている。 ・ 指定管理業務が適切に行われていることにより、本施設の機能が維持されている。
施設運営の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した施設及び各種設備を更新、修繕する必要がある。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の機能を維持するため、老朽化した施設及び各種設備の修繕を計画的に実施していく。

6 外部有識者委員会による評価（提言）

評価（提言） 令和6年度	施設の管理運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕費や光熱水費が高騰している中で、様々な経費節減に向けた努力を講じている点は評価できる。 ・ 周辺施設との積極的な連携等により、当該施設を活用した地域活性化策について要検討。
	県の施策達成に向けた施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設から約30年が経過していることから、一般的に大規模修繕が発生する時期にあると考えられる。光熱水費も高騰している状況で運営における黒字化も厳しくなることを踏まえると、県が多額の修繕費を負担して関与を続けるべきか要検討。
評価（提言）を踏まえた対応方針 令和6年度	指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経費節減は高いレベルで引き続き実施。併せて増収増益に向けた「地元密着型宿泊プラン」の規格・販売を行い、経営の安定化を図る。 ・ 今後、鉱業関連研修生の受入を増加させるほか、環境産業振興の拠点として、地元市町村や県地域振興局の誘客促進施策と連携し、周辺の産業観光施設（小坂鉱山事務所・康楽館・小坂鉄道レールパーク・エコタウンセンター等）を併せて情報発信することで、観光と広域連携による認知度向上を図る。
	県所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居団体である国際資源大学校と修繕に係る負担のあり方について協議を行った結果、研修で直接使用する設備等の修繕は同校の負担で引き続き実施することとし、その対象範囲については幅広くに検討していくこと、それ以外の建物本体及び建物付帯設備は県が修繕することとし、研修施設としての機能の維持を図っていくこととしている。
対応方針の進捗状況 令和7年度	指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種材料や、客室アメニティ等消耗品類の仕入れ価格の値上げや、電気・ガス・灯油等光熱費の単価上昇が顕著な中、節電や不要・不急案件の見直しによる経費の削減及び生産性向上を推進し、労務費の低減を図った。 ・ 国際資源大学が実施する研修の受入では宿泊者は前年比減少となったが、「連泊プラン」や秋田県発祥の「ナガハマコーヒー」の提供等付加価値向上策を実施し、ビジネスや観光での利用者は堅調に推移した。 ・ 周辺観光施設との連携では、小坂町との提携による宿泊者特典として小坂鉱山事務所、康楽館等観光施設の入場割引券の提供を行うなど観光施設利用促進や認知度向上に努めた。
	県所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉱業関連研修生が宿泊する宿泊棟の外壁・屋上防水修繕を当課で実施したほか、研修室等がある本館棟の外壁・屋上防水修繕については、令和8年度の施行に向けて実施設計を行った。